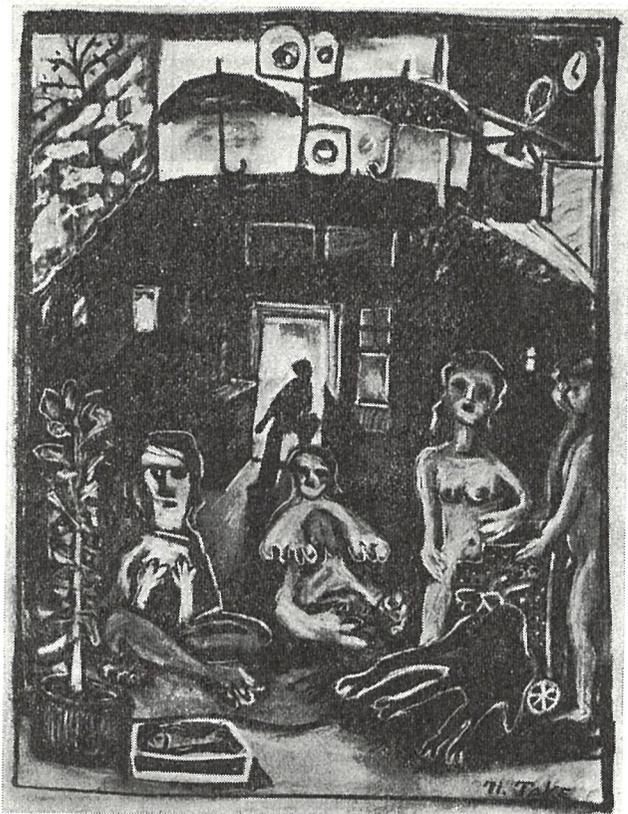


奥田 武彦



「家族」 -1971-

地球のご真ん中で  
恐怖が我々を締めつける  
誰もが佇み  
まもなくグッタリなる  
大声もあげず  
叫びもしない  
やがて脳細胞は破壊され  
人類衰頹の道を辿る  
このむせかえるような地上季節  
その異様な世界が続くことを  
誰が願っていたよう  
人間不信を生み  
暴力に似た見せかけの平和の中で  
俗流政治に墮することなく  
ゆれ動く変革の形態を造り出す  
黒の密室にゆらめく幻影は  
恋でもなく愛でもなく  
都市空間に衝撃する  
人間の底の叫び  
木炭の連作画面に叩きつける  
深層からほとばしりでる情念  
形象の厳しさ  
強烈なデフォルメは  
日本の青春の叫びか

(女子大学職員)